



## 発展途上国の若手研究者に御支援を

—IUGG2003札幌総会へのご寄付のお願い—

今夏6月30日から7月11日まで札幌にて開催されるIUGG2003総会には、約5000人の参加が見込まれています。その中に、学生を含む若手研究者の参加が期待されています。特に発展途上国からの若手研究者の参加には、可能な限りの支援をすることが日本で開催する本総会の特徴の一つにもなっています。

本総会は、総額で約2億9千万円の予算で計画されています。その経費を支える収入は、参加者の登録料を主としつつ、個人や企業、自治体、公共機関などからの寄付が基礎になっています。一方、支出としては、会場費や運営費を主な出費としつつも、上述の若手研究者への参加補助に重点がおかれている点が特徴です。この計画により、発展途上国からの若手研究者の参加を積極的に支援し、本総会が将来の国際研究協力発展の一つの動機付けになることを期待しています。そのための経費約5千万円は、おおよそ個人や企業からの寄付として期待している金額に相当します。

つきましては、日本気象学会の個人会員の皆様は、このような本総会の趣意をご理解頂き、寄付のご協力をここにお願い申し上げます。

お寄せ頂く寄付金は、下記により、日本気象学会事務局を通じて、IUGG組織委員会/募金委員会に納めさせていただきます。なお、学会を通さずに直にIUGG募金委員会に納めたい方は、そのための方法が別途ありますので、ご注意ください。日本気象学会の会員の方は、以下ご案内致しますようにしてご寄付頂ければ便利かと存じます。

さて、誠に不躰けではありますが、ご協力をお願いしたい個人寄付の金額として、上述の趣意を生かすために、おおよそ次のような目処をご配慮頂けますと有り難いと思ひまして、率直にお願い申し上げます。

すなわち、1口千円を単位として、2口以上。なお、総会に参加される方については、特に「公費(科研費その他私費以外)」で登録料をお支払い済み又は予定の

場合、1口1万円で2口以上を期待致しております。1万円以上のご寄付に対しては、所定の手続きをすれば所得税に関して一部控除が可能になりますので、ご希望の場合はお申し出下さい。

募金の期間は、6月30日までとしますが、なるべく早めにご寄付の手続きをして頂くと組織委員会/募金委員会としては好都合です。実際の振込は期限までに行うが、今は寄付の申し出だけしておきたい、という方もその旨のご連絡を頂ければ幸いです。

募金担当理事 木田秀次

### 記

**募金対象**：日本気象学会の個人会員

**募金期限**：2003年6月30日まで

**寄付金額**：1口=千円として、2口以上。

(但し、登録料公費払いの参加会員は、1口=1万円で、2口以上。)

**振込方法**：本誌に添付の郵便振替用紙を使用

**振込宛先**：日本気象学会事務局内

IUGG2003総会募金担当事務

**問合せ先**：日本気象学会事務局

### 参考資料1 (予算案)

収入概算	登録料	1億7千万円
	日本学術会議	2千万円
	自治体	4千万円
	寄付金	6千万円
支出概算	会場代	1億1千万円
	運営費	1億3千万円
	若手支援	5千万円

### 参考資料2 (個人参加の登録料)

登録料	標準：5万円(早割4万2千円)
	学生：3万円(早割2万7千円)